

## ～AMERICAN LIFE☆about 10days～

七飯高校2年 小石 明日美

9月23日、楽しみ半分、不安半分ながらも待ちに待ったアメリカへ旅立ちました。初めて長時間飛行機に乗ったので体調を崩してしまいましたが、さまざまな機内食や友達との会話で楽しむことが出来ました。

私のホストファミリーは、昨年ホームステイの受け入れをした、ベンと一緒に住む家族のケイト・お父さん・お母さん・ベンと双子のクリスの5人家族です。いざホストファミリーと対面したら、とても緊張しました。しかし、みんな親切にしてくれて、ちょっと安心しました。

このアメリカの旅での1番の思い出は…ホームステイです。2回ほど、コンコードの生徒の受け入れを経験したことがありますが、逆の立場になってホームステイをさせてもらうのが初めてでした。しかし、ショッピングに行ったり、ボーリングをしたり、可愛いレストランに連れて行ってもらったりしてたくさん楽しませてもらいました。また、26日は



ホームステイ宅にて

ケイトの誕生日でした。朝起きると、ポストにたくさんの手紙が入っていたり、テーブルいっぱいのプレゼントがあり、私はびっくりしました。そして、夜には家にたくさんの友達を呼んでパーティーをしました。パーティーの後は、お菓子を食べながら、トランプをしてお互いの国でのトランプの遊び方を教え合い、楽しい時間を過ごしました。言葉は通じなくても、手振り身振りで通じ合えたのが嬉しかったです。ホームステイ中は、英語があまり話せない私たちのために、辞書で日本語を調べて、日本語で会話をすることもありました。日本語で、果物の名前を覚えてくれて嬉しかったです。

学校は、七飯高校とは比べ物にならないくらい広いのに、休み時間が7分と短いのに驚きました。授業はみんな積極的に発言していて、七飯高校の授業風景とは違いました。ランチは種類が豊富で、自分で好きなものを選びました。サラダは、何人前？というくらい大きかったです。生徒はみんなフレンドリーで、すぐに緊張もほぐれて、楽しく過ごすことが出来ました。

この旅の1番の目的である、吹奏楽の演奏会は、今までにない短い期間の中で4回も演奏会があり、つらいと思っていました。……しかし!!!!今までに味わったことのないお客さんの盛り上がり具合に、テンションがあがりました。どの演奏会でも、スタンディングオベーションで、感動しました。合同演奏では、コンコードカーライル高

校の生徒で同じ楽器の男性2人に挟まれ、すごくドキドキしましたが、見た目とは違って、優しくかったです。演奏面ではすごく迫力があって、勉強になることもたくさんありました。デンティーノ先生と小野寺先生の最後の合同演奏会でしたが、最高の思い出を作ることができ、先生方に感謝です。

そして、お別れの日……。

ホストファミリーのおかげで、ホームシックには全然なりませんでした。というより、日本に帰りたくありませんでした。ケイトは、朝食を食べている時から泣いていて、すごく悲しくなりました。ずっと涙を流すのをこらえていましたが、いざ、学校に着いてみんなとお別れとなると、

どんどん涙があふれてきてしまいました。何度も、お父さん、お母さん、ケイト、ソニアとハグをして、またいつか会えることを願いました。

そして、あっという間にホームステイが終わり、コンコードともさよならをし、ニューヨークへ、旅立ちました。

ニューヨークは、たくさん的高層ビルとたくさんの人々で、今までいたコンコードとは、全く違いました。ニューヨークでの一番は、やっぱり、『自由の女神』です。



自由の女神

あんなに間近で本物を見ることができ、何度もすごいすごい！！と言っていました。自由の女神の中を見ることができたり、後ろ姿や足の裏まで見れて、すごい経験が出来ているんだとさらに、実感できました。ニューヨークの街は、あまり清楚ではなく、想像以上にぎやかだったので、コンコードに戻りたいなと思ってしまいました。

このアメリカの旅で、町の代表として、学校の代表として、吹奏楽局の一人として、たくさん不安なことがありましたが、みんなに支えられ、一生の思い出を作ることができて良かったと思います。このような素晴らしい経験をさせてもらい、七飯町、コンコード町のみなさん、役場のみなさん、先生方、保護者のみなさん、そして訪問団のみなさんに感謝でいっぱいです。これからの生活や将来にこの経験を生かしていけるよう、さらに頑張っていきたいと思います。また機会があれば、是非もう一度コンコードへ行きたいです！

本当に、ありがとうございました。



ホームステイ先のベンとケイトとクリス